



日本人高校生16名がヤンゴンを訪問 日本と同国をつなぐ架け橋へ ミャンマーで「ティーンエイジ アンバサダー」を実施

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、当財団）は、10月31日（月）から8日間、ミャンマー人民共和国（以下、ミャンマー）にて、日本と同国の高校生が親交を深める「日本 ミャンマー ティーンエイジ アンバサダー」を実施します。

日本から16名の高校生がヤンゴンを訪問し、ミャンマーにおける民主化運動の指導者・政治家 アウンサンスーチー氏の母校でもあるダゴン第一高校（旧称：メソジスト英語高校）の学生計16名とさまざまな活動を通じて友情を育みます。ホームステイや歴史・文化体験はもちろん、両国を代表する小さな大使としてミャンマー教育副大臣への表敬訪問を行います。また、当財団が建設を支援し2013年に開校した「イオンガンゴースクール」の視察や、経済的な理由で学校へ通えない子どもの教育施設であり、孤児の生活拠点にもなっている僧院への訪問を通じ、現在のミャンマーの状況について理解を深めながら、異なる文化や価値観を学びます。

さらに、国際協力の現場を視察する機会として、障がいのある民間人を広く受け入れているミャンマー唯一の職業訓練校への訪問を行います。同施設は認定NPO法人難民を助ける会（以下、AAR）により2000年にヤンゴンに開設されたもので、当財団とAARが11月5日より新たに実施する「アジア障がい者支援募金」を通じ支援を行う施設の1つです。

当財団は「諸外国との友好親善の促進」を事業目的の1つとして掲げ、1990年より、アジア各国と日本の高校生が互いの国への訪問を通じて交流する「ティーンエイジ アンバサダー」事業を実施しています。ミャンマーとの交流は2013年に続き2度目となります。

当財団はこれからも、アジア各国の未来を担う若者に国境を越えた交流機会を提供し、友好親善の輪を未来へつなげてまいります。

【2013月にミャンマーで実施した「ティーンエイジ アンバサダー」の様子】



教育省のミーアエー教育大臣を表敬訪問



寺院で托鉢体験する日本人高校生

【プログラム概要】

1. 期 間：10月31日(月)～11月7日(月)
2. 実施地域：ミャンマー連邦共和国 ネーピードー・ヤンゴン
3. 参加者：日本（北海道登別明日高等学校）の高校生 計16名
ミャンマー（ダゴン第一高校）の高校生 計16名
4. 行動予定：
 - 10月 31日(月) 移動、オリエンテーション
 - 11月 1日(火) ミャンマー政府教育省への表敬訪問
 - 11月 2日(水) 日本人墓地 訪問、ボージョーアウンサン博物館 視察、
在ミャンマー日本国大使館歓迎会
 - 11月 3日(木) 托鉢体験、イオンガンゴースクール 訪問
僧院（Aung Zayar Min Monastery）訪問
障がい者職業訓練校 訪問
 - 11月 4日(金) ダゴン第一高校で授業体験、ホームステイ
 - 11月 5日(土) ホームステイ
 - 11月 6日(日) ホームステイ、フェアウェルパーティー
 - 11月 7日(月) 帰国

ご参考

「アジア障がい者支援募金」について

社会福祉体制が整っていないアジアの国々では、身体的障がい者の教育・就労を支援する施設が不足しています。お寄せいただいた善意の募金は、認定NPO法人 難民を助ける会を通じ、職業訓練の実施や学校へ通うための車いすの贈呈など、障がいにより貧困に陥っている若者の自立支援に役立てられます。



募金期間：2016年11月5日(土)～

2016年12月4日(日)

実施場所：全国イオングループ店頭